



取扱説明書



このたびは日本デジタル家電ハードディスクレコーダをお買い上げ
いただきましてまことにありがとうございました。
お求めのハードディスクレコーダを正しく使っていただくために、
お使いになる前に「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後はいつもお手元においてご使用ください。
同梱のユーザー登録カードを必ずお送りください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製造
番号と保証書の番号が一致しているかご確認ください。

Rev.3.16(2002.11.06)



株式会社 日本デジタル家電



0120-498-798 <http://www.rokuraku.com>

必ずお読みください

電気製品は安全の為の注意事項を守らないと、火災や人身事故につながる恐れがあります。事故を防ぐための製品の取り扱い方法と「安全上のご注意」事項が、この取扱説明書に記載されておりますので、よくお読みの上、安全にご利用下さい。

大切な記録の場合には、必ず事前にためし録りをし、正常に記録されていることを確認してください。

万一不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償についてはご容赦ください。

あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断では使用できません。

箱の中をお確かめください

にチェックしながらお確かめください。

✓ ロクラク取扱説明書（1冊、本書）

ロクラク本体（1台）

ワイヤレスリモコン（1個）

単4型乾電池×2本

電源コード（1本）

映像接続コード（1本）

CD-ROM（1枚）

「ロクラク」ユーザー登録カード（1枚）

ハードウェア保証書（1枚）

保証とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、必ずご確認ください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

この製品の修理サービスは、センドバック方式を採用しております。詳しい内容につきましては、同梱の保証書をご覧ください。

最新情報サービスについて

この製品は、USBによるファームウェアの更新が可能となっており、直接ホームページよりハードディスクビデオレコーダーの最新情報を入手することができます。当社では、定期的に機能面の充実を行っており、その最新情報がホームページに反映されておりますので、是非ご利用下さい。保証期間内は、自由にファームウェアの変更が可能です。

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービス窓口へ

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- ・ 型名 :
- ・ 購入年月日 :
- ・ 故障の状態 : できるだけ詳しくお知らせください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

お客様による部品交換・修理・改造・分解を行った場合(あるいはその痕跡が認められる場合)、保証対象外となりますのでご注意ください。その為、この製品がお手元に届いた際、必ず損傷等がないことをご確認ください。詳しくは保証書をご覧ください。

この製品は当社での修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品にご同意をいただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。

サービス窓口のご案内

お買い上げいただいたハードディスクビデオレコーダーは、お買い上げ日より1年間、サービス窓口で保証サービスを行っております。

製品の品質には万全を期しておりますが、万一、故障などの不具合が生じた場合や、接続や操作の方法がわからない場合は、当社サービス窓口にお問い合わせください。

また、製品に対するご意見なども、お気軽にお寄せください。よりよい製品作りに生かしていきたいと考えております。

今後とも株式会社 日本デジタル家電の製品をご愛用くださいますようお願い申し上げます。

保証期間中の操作・故障に関するお問い合わせはサービス窓口へ

E-mail アドレス	help@rokuraku.com
電話番号	 0120-498-798 (修理サポート係をご指定ください)
FAX 番号	03-5308-5081
サービス時間	10:00 ~ 17:00 (土曜・日曜・祝祭日を除く)
URL	http://www.rokuraku.com

目次

お使いになる前に

安全上のご注意	7
取り扱い上のご注意	9

各部の名称と働き

コントロールパネル(前面)	11
コネクターパネル(後面)	13
リモコン	14

接 続

アンテナ・テレビ・ビデオ機器との接続	15
--------------------	----

基本設定

電源を入れる	17
メニュー画面を表示する	18
日付・時刻設定	19
チャンネル設定(自動)	21
お好みチャンネル設定(手動)	23
画面表示の設定を変更する	25

入力切り換え

画面表示を切り換える	29
ガイド表示の ON/OFF をする	30

録 画

テレビ番組を録画する	33
外部入力を録画する	35
録画中に録画残り時間を設定する(ワンタッチ録画)	36
録画モード、録画画質を設定し録画する	37
外部入力信号を自動検出して録画を開始する(CS/BS 録画予約)	39
録画画質の設定を変更する(ロクラク・スーパー)	40
長時間録画・標準録画・高画質録画の設定	
録画画質の設定を変更する(ロクラク/ロクラク・マルチ)	43
長時間録画・標準録画・高画質録画の設定	
ビットレートを設定する(ロクラク・スーパー)	45
録画画質を簡単に変更する(ロクラク/ロクラク・マルチ)	46
録画予約をする	47
録画中に録画予約をする	50
録画予約の内容確認、変更、削除をする	52
無期限録画機能(リング録画)	55
24 時間、時刻毎にチャンネルを指定して録画する(チャート録画)	56
リング録画バッファの再生・削除	61
リング録画バッファの保存(ロクラク・スーパー)	62

目次

再生

ファイル(記録映像)を再生する	65
6分割の「サムネイル画面」から選んで再生する	67
24分割の「サムネイル画面」から選んで再生する	68
「サムネイル画面」から選んだ映像を連続再生する(プログラム再生)	69
進む/戻る/一時停止/コマ送り/スロー再生(トリック再生)	73
録画中に録画済みの部分を見る(追いかけて再生)	74
録画中に別のファイル(記録映像)を再生する	75
くり返し再生する(リピート再生)	76
音声を切り換える	77
マーカー機能	78
ファイルインフォメーションの見方	79

編集

ファイル編集	81
ファイルコピー	83
ファイル削除	84
ファイル結合	85
ファイル切詰	86
ファイル分割	88
ファイルの保護・非保護をする	90
ファイル名変更	92
内蔵・増設ハードディスク間のファイルコピー	94
「カスタム表示」の登録をする(ロクラク・スーパー)	95
「カスタム表示」の取消をする(ロクラク・スーパー)	96
「カスタム表示」の入れ替えをする(ロクラク・スーパー)	98

ハードディスク

ハードディスクの使用状態を見る	101
ハードディスクをフォーマットする	103
ハードディスクを切り替える	105
ハードディスクをコピーする	106

付録

故障かな?と思ったら	109
用語解説	111
主な仕様	115

PC アプリケーションの取扱説明書について

「ロクラク」と連携してお使いいただくための PC アプリケーション(「ロクラク・コントローラ」及び、「ロクラク・メール予約」)のご使用方法については、付属 CD-ROM に添付されております取扱説明書(PDF ファイル)をご参照ください。また、最新の取扱説明書につきましては弊社インターネットホームページ(URL <http://www.rokuraku.com>)にて掲載しておりますのでご覧ください。



お使いになる前に

安全上のご注意



ご使用の前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この取扱い説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全にお使いいただくために、重要な内容を記載しています。







次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

[表示の説明]








表示	表示の意味
 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があることを示します。
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があることを示します。

[図記号の説明]

図記号例	図記号の意味
 禁止	禁止（絶対にしてはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で説明しています。
 強制	強制（必ず指示に従い行うこと）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で説明しています。

 警告	
<p>異常が起きたときは使わない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万一、異常な音、におい、煙がでたときはすぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜くこと。 火災・感電の原因になります。 当社サービス窓口にご連絡ください。 	<p style="text-align: center;"></p> <p style="text-align: center;">プラグを抜く</p>
<p>電源は、交流 100V を使う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AC100V 以外でご使用になると、感電・火災の原因になります。 	<p style="text-align: center;"></p> <p style="text-align: center;">100V 使用</p>
<p>分解しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改造・分解はしないこと。 けが・感電・火災の原因になります。 ・キャビネットははずさないこと。 内部に手を触れると、感電の原因になります。 	<p style="text-align: center;"></p> <p style="text-align: center;">分解禁止</p>
<p>内部に異物を入れない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部に燃えやすいものや金属、水などが入ると、火災・感電、事故や故障の原因になります。 	<p style="text-align: center;"></p> <p style="text-align: center;">禁止</p>
<p>電源コードを傷つけない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源コードの上に重いものをのせたり落としたりしない。 ・電源コードを傷つけたり、延長するなどの加工をしたり、熱器具に近づけたりしない。 ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない。 コードが傷ついて、感電・火災の原因になります。 	<p style="text-align: center;"></p> <p style="text-align: center;">傷つけ禁止</p>

 警告 (つづき)	
<p>不安定な場所に置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぐらつく台や傾いた場所など、不安定な場所や振動のある場所に置かない。 ・落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。 	 禁止
<p>上に物を置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。 ・花瓶やコップなどから液体がこぼれだした場合、火災・感電の原因になります。 	 禁止
<p>風呂場には置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水気の多い場所での使用は、感電・火災の原因になります。 	 風呂場禁止
<p>雷が鳴り出したら、本機に触れない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感電・火災の原因となります。 	 接触禁止

 注意			
<p>設置するときは、次のことをお守りください</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直射日光や熱器具のそばに置かない。 ・仰向けや横倒し、さかさまにしない。 ・押入れや本箱など風通しの悪い場所に置かない。 ・布（テーブルクロスやカーテン）をかけない ・じゅうたんや布団の上に置かない。 ・湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気の当たる場所には置かない。 ・風通しが悪かったり、置き場所によっては内部に熱がこもり、火災や感電の原因となります。 		 設置禁止	
<p>電源プラグを持って抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源コードを引っ張ると傷つき、感電・火災の原因となります。 	 プラグを持つ	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感電の原因となります。 	 濡れ手禁止
<p>電源プラグのほこりは定期的にとる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災の原因になります。 	 ほこりをとる	<p>移動させる場合は接続線を外す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグや外部との接続線を外したことを確認のうえ、移動する。感電や火災・けがの原因になります。 	 禁止
<p>乾電池取扱いの注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・極性 [(+) と (-)] を間違えて挿入しないこと。 ・充電・分解・過熱・ショートしたり、火の中に入れてはいけないこと。 ・乾電池に表示されている[使用推奨期限]を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかないこと。 ・種類の違う乾電池や、新しい感電地と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと。 <p>これらを守らないと、液漏れ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の診療を受けてください。</p>		 禁止	

取り扱い上のご注意

次のような場所での使用および保管は避けてください。

- ・ 極端に寒いところや暑いところ
- ・ 直射日光が長時間あたるところや暖房器具の近く
(真夏の窓を閉めきった自動車内では 50 を超えることがありますので、ご注意ください。)
- ・ 湿気、ほこりの多いところ
- ・ 激しく振動するところ
- ・ 強い磁気を発生するものの近く
- ・ 強力な電波を発するテレビ、ラジオの近く

水平位置で使用して下さい

本機は水平位置で使用するように設計してあります。極端に傾けて使用することは避けてください。

強い衝撃をあたえないでください

落としたりして強い衝撃を与えると故障することがあります。

通風口をふさがないでください

温度上昇を防ぐため動作中に布などで包まないでください。

お手入れ

キャビネットやパネルのよごれは、乾いたやわらかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどい時は中性洗剤溶液を少し含ませた布でよごれをふきとり、乾いた布で仕上げてください。

アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけると変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

電源プラグの刃や刃の取り付け面にごみやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きごみやほこりを除去して下さい。電源プラグの絶縁低下により、感電・火災の原因となります。

輸送の時は

付属の Karton または同等品で梱包し、急激な衝撃をあたえないように注意してください。

結露について

結露とは、空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。

本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだ時や、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こる時があります。

結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままでご使用になると故障の原因になります。

ハードディスクについて

ハードディスクは記録密度が高いので、本機で長時間録画やすばやい頭だし再生を楽しむことができます。その一方、ハードディスクはほこりや衝撃、振動に弱く、磁気を帯びた物に近い場所での使用は避ける必要があります。

ハードディスクは衝撃や振動、ほこりからデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記録したデータを失ってしまうことが無いよう、次の点にご注意ください。

- ・ 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- ・ 録画や再生中および編集中はコンセントを抜いたりしないでください。

- ・急激な温度変化（毎時 10 以上の変化）のある場所では使用しないでください。
- ・大切な記録（録画および編集）の場合には、必ず事前に試し録画・編集をし、正常に記録されていることを確認して下さい。本機使用中、万一何らかの不具合により、記録されなかった場合の補償及び付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化および消失など）に関して当社は一切の責任を負いません。
- ・すべての動作中に電源プラグを抜いたり、停電があった場合、記録内容が損なわれたり、あるいはすべて消える場合があります。

また、ハードディスクの保護の為に以下の点にご留意下さい。

- ・リング録画及びチャート録画機能の長時間にわたってのご利用は、メカニカルな機構部を有するハードディスクにとって大きな負担となり、ご利用頂ける耐用期間を短くする恐れがあります。ハードディスクの保護の為に、リング録画及びチャート録画は、定期的（連続 1 週間程度を目安）に停止させることをお勧め致します。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復は出来ませんので大切な映像などはビデオテープ等にダビングするなどしてバックアップを取っておくことをお勧め致します。

残像現象（画像の焼きつき）について

セットアップ画面やメニュー画面、番組表などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。また再生や録画を一時停止したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象（画像の焼きつき）を起こす場合があります。特にプロジェクションテレビでは残像現象が起こりやすいのでご注意ください。

免責事項について

- ・火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化および消失など）に関して当社は一切の責任を負いません。
- ・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

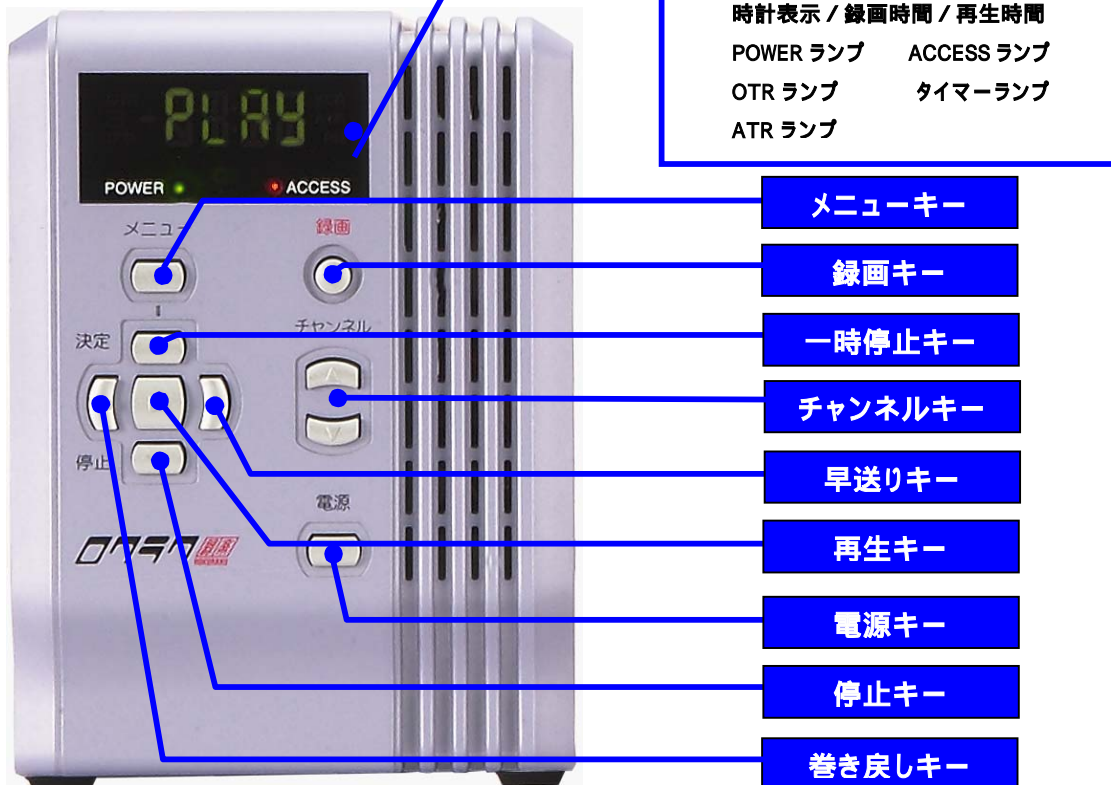
停電について

本機の動作中に停電等が発生したり、電源プラグをコンセントから抜いたりすると、場合によりハードディスクに記録された内容が損なわれたり、消去されてしまう場合がありますので、ご注意ください。万一に備えて、大切な記録につきましては、ビデオテープ等にダビングして保存される事をお勧め致します。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度本書をご覧の上、点検してください。それでも正常に動作しない場合は、当社サービス窓口にお問い合わせください。

コントロールパネル(前面)



LED 表示

時計表示

時計は 24 時間・12 時間表示を選択できます。(画面表示設定(P25)を参照)
録画・再生時以外の時、時計表示を行います。
時計表示の場合 1 秒おきに : が点滅します。

録画時間・再生時間表示

録画時や再生時に録画時間・再生時間を表示します。再生の場合、どこから再生しても録画されている映像の最初からの経過時間を表示します。時間表示は、59 分 59 秒までは、分：秒の表示をしますが、1 時間を越えると時：分の表示になります。

電源(POWER)ランプ

電源 ON の状態で、LED(緑)が点灯します。

LED 表示

時計表示 / 録画時間 / 再生時間
POWER ランプ ACCESS ランプ
OTR ランプ タイマーランプ
ATR ランプ

メニューキー

録画キー

一時停止キー

チャンネルキー

早送りキー

再生キー

電源キー

停止キー

巻き戻しキー

アクセス(ACCESS)ランプ

ハードディスクがアクセス中の場合 LED (赤)が点滅します。

OTR ランプ

録画時間を指定して録画(ワンタッチ録画)しているとき点灯します。(P36)

タイマーランプ

録画予約の登録がされているとき点灯します。(P49)

ATR ランプ

外部入力信号を自動検出して録画を開始する設定(ATR モード)のとき点灯します。(P39)

各種キー操作

メニューキー

記録映像画面にて、[メニュー]キーを押すことにより「ロクラク」メニューを出すことができます。

テレビ放送・外部入力映像表示中にて、[メニュー]キーを押すと「録画設定」メニューを表示します。(P37)

録画キー

録画の開始をします。

すでに録画中の場合には、ワンタッチ録画設定をします。

再生・キー

選択したタイトルを再生します。

各種メニュー表示中は、選択のための[]キーになります。

一時停止・決定キー

再生中、画像を一時停止させます。

各種メニュー表示中は、選択決定のための[決定]キーになります。

早送り・キー

再生している映像を早送りできます。

一回押すと4倍速、さらに押すと16倍速、64倍速、256倍速、999倍速になります。巻戻しキーを押すことで、速度を下げることが出来ます。各種メニューの表示中は、選択のための[]キーになります。

「記録映像画面」表示中は、次のファイルに切り換えるための[]キーになります。テレビ放送・外部入力映像表示中は、[]キーを押すことで「記録映像画面」に切り換わります。

巻戻し・キー

再生している映像を巻き戻しできます。

一回押すと4倍速、さらに押すと16倍速、64倍速、256倍速、999倍速になります。早送りキーを押すことで、速度を下げることが出来ます。各種メニューの表示中は、選択のための[]キーになります。

「記録映像画面」表示中は、前のファイルに切り換えるための[]キーになります。テレビ放送・外部入力映像表示中は、[]キーを押すことで「記録映像画面」に切り換わります。

停止・キー

再生を終了します。

各種メニューの表示中は、選択のための[]キーになります。

電源キー

電源 ON/OFF キーです。

チャンネル + キー

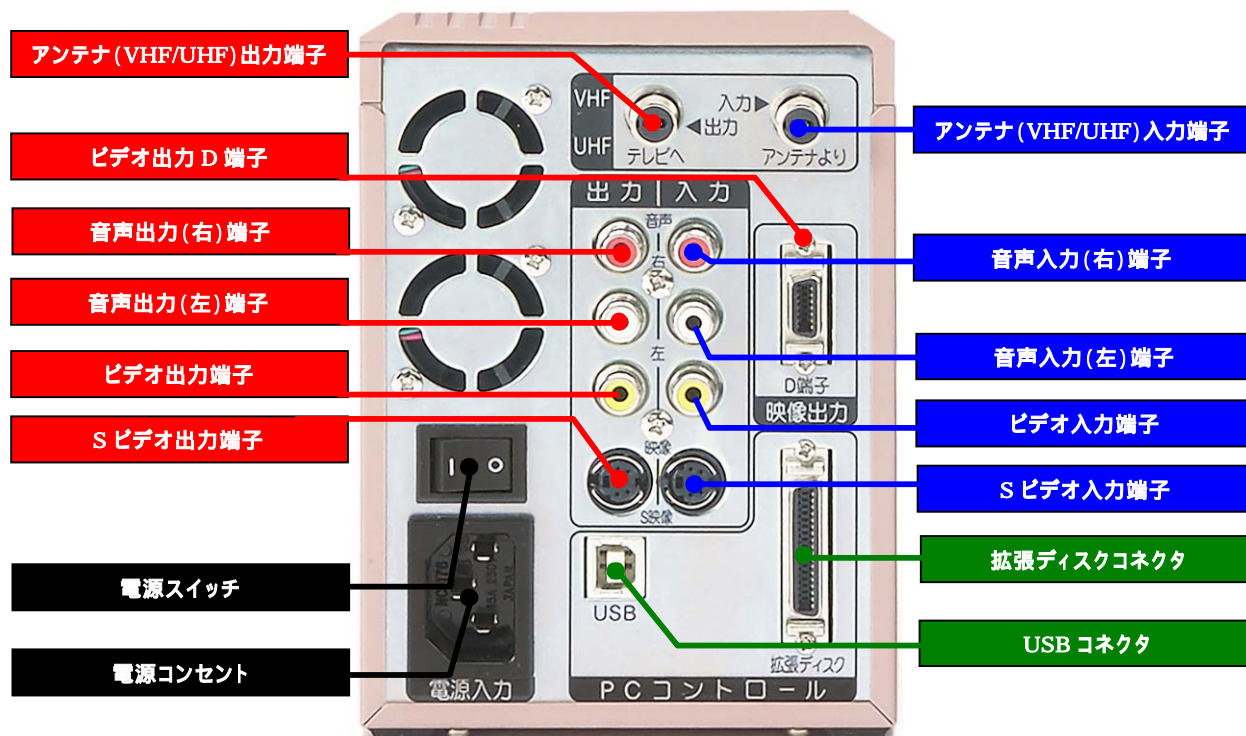
テレビ放送番組切り換えのための、次のチャンネルを選局するキーです。

チャンネル - キー

テレビ放送番組切り換えのための、前のチャンネルを選局するキーです。

コネクターパネル(後面)

(注) 本「ロクラク」コネクターパネルは、「ロクラク・スーパー」のものです。



アンテナ(VHF/UHF)入力端子

アンテナへ接続します。

アンテナ(VHF/UHF)出力端子

テレビへ接続します。

Sビデオ出力端子

S端子入力付きのテレビへ接続します。

Sビデオ入力端子

S端子付きの外部機器と接続します。

ビデオ入力端子

ビデオ出力付きの外部機器の映像端子と接続します。

ビデオ出力端子

ビデオ入力付きのテレビの映像端子と接続します。

音声入力(左、右)端子

ビデオ出力付きの外部機器の音声端子(左、右)と接続します。

音声出力(左、右)端子

ビデオ入力付きのテレビの音声端子(左、右)と接続します。

電源スイッチ

電源のオン、オフを切り換えます。

拡張ディスクコネクタ

外部 HDD と接続します。ロクラク・スーパー/ロクラク・マルチに装備しています。

USBコネクタ

USB端子付きのPCなどと接続します。

ビデオ出力D端子

D端子付きのテレビと接続します。ロクラク・スーパーに装備しています。⁺¹

電源コンセント

電源ケーブルと接続します。

⁺¹ D端子出力と、S端子出力は、ジャックの接続を自動検出して切り換えます。両方接続している場合は、D端子出力を優先します。(S端子の映像は白黒になります。)

リモコン

1 **電源キー**

本機の電源を入/切します。

2 **チャンネル番号(ダイレクト)キー**

受信チャンネルを選ぶときに押します。

3 **再生キー(*)**

再生を始めます。

4 **編集キー**

「サムネイル画面」を表示します。(P81)

5 **巻戻しキー(*)**

再生モードで逆再生するときに押します。

6 **停止キー(*)**

再生、録画を停止するときに押します。

7 **メニューキー**

各種設定メニュー画面に入ります。

8 **マーカー選択キー**

マーカー位置を選択します。(P78)

9 **TV キー**

入力をTVに切り換えます。

10 **記録映像キー**

ハードディスクに録画されている記録映像画面を表示させるときに押します。

11 **スロー再生キー**

再生中にスロー再生するときに押します。

12 **外部入力キー**

入力を外部入力に切り換えます。

13 **リピートキー**

再生中に押すとリピート再生となります。

14 **マーカーキー**

再生中に押すとその位置にマーカー登録します。(P78)

15 **録画キー**

録画を開始するときに押します。

16 **早送りキー(*)**

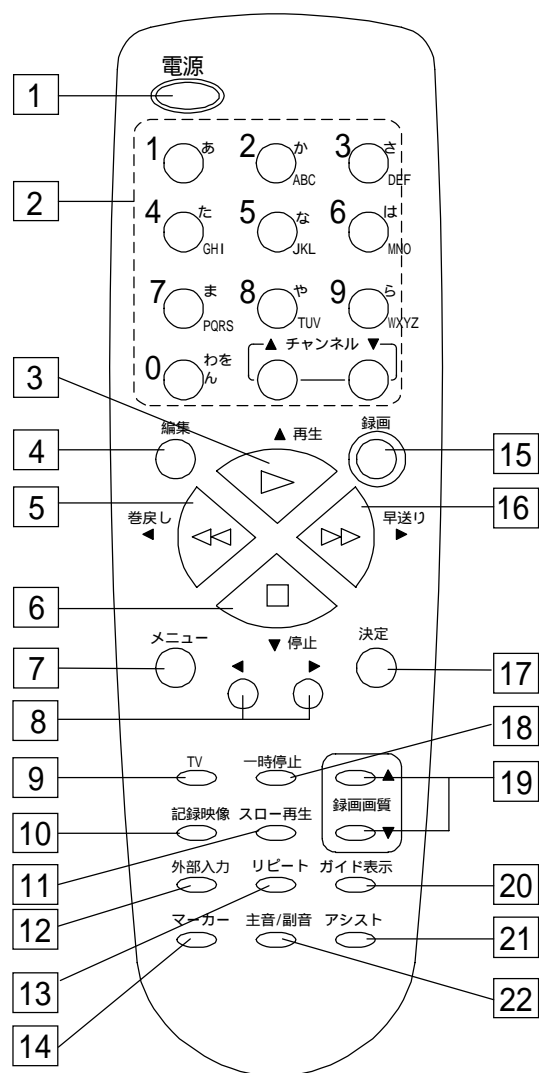
再生モードで高速再生するときに押します。

17 **決定キー(*)**

メニューや編集画面で項目を決定するときに押します。

18 **一時停止キー**

再生を一時停止するときに使います。

19 **録画画質変更キー**

録画画質を変更するときに押します。

20 **ガイド表示キー**

使用状態や操作内容を画面に表示する時に使います。(P30)

21 **アシストキー**

BS/CS録画予約用のキーです。(P39)

22 **音声切り換えキー**

聴きたい音声を選ぶときに使います。(P77)

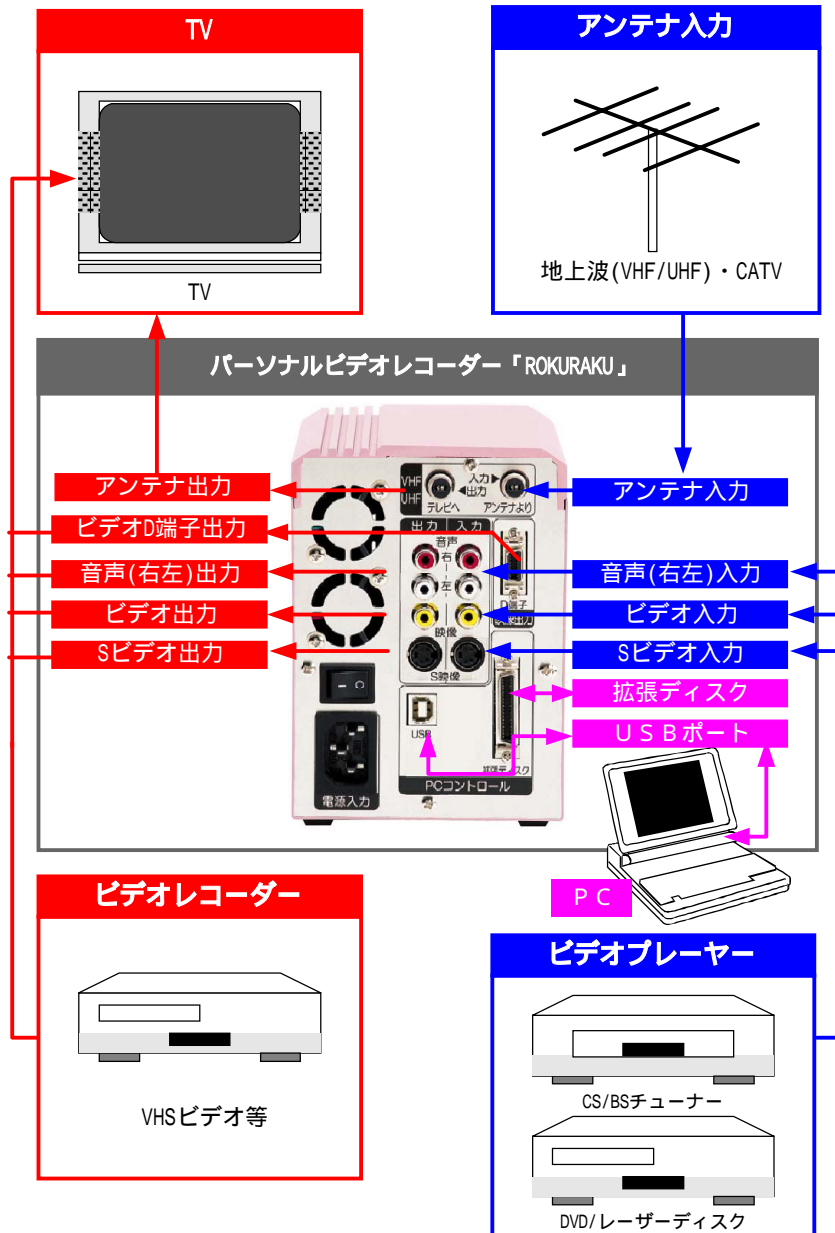
3 5 6 16 **カーソルキー**

(*) 注: 3 5 6 16 のキーは方向キー()としても使います。項目や設定内容を選択するときに使います。

アンテナ・テレビ・ビデオ機器との接続

テレビに接続されているアンテナ線を外し、外したアンテナ線を本機のアンテナ(UHF/VHF)入力端子につなぎます。本機のアンテナ出力とテレビのアンテナ入力をつなぎます。次に、本機とテレビ及びビデオ機器間の映像・音声端子をつなぎます。

(注) 本「ロクラク」背面パネルは、「ロクラク・スーパー」のものです。



- ⚠ 警告** 電源プラグは家庭用交流 100V のコンセントに接続してください。交流 100V 以外を使用すると火災・感電の原因となります。
- ⚠ 注意** ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- お願い** 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。
- 接続するときは、必ず本機およびテレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。